

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA SOUTHEAST



広島東南ロータリークラブ 2023年5月22日（第2873回例会）

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 TEL241-1111

事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 TEL221-4894

会長 佐野庸子 幹事 谷井 智

5月は「青少年奉仕月間」です。

5月ロータリーレート 1ドル=136円



本日の例会

12:30 点 鐘

ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」

四つのテスト（職業奉仕・経営研究担当）

来客紹介（親睦委員会）

会食

12:45 会長時間

（佐野会長）

幹事報告

（谷井幹事）

委員会報告

・出席報告

（出席担当）

・その他

同好会報告

S.A.A.

13:00 プログラム

13:30 点 鐘

会長時間

○連続出席100%会員表彰（5月） *は記念品あり

細田正雄会員 32年 守下康弘会員 10年*

伊藤正樹会員 25年* 赤川浩二会員 7年

行武治子会員 24年 渡邊直樹会員 7年

神辺眞之会員 20年* 板本敏行会員 2年

岩田久夫会員 14年

幹事報告

○本・次年度合同クラブアッセンブリー開催

18:30～ 於ANAクラウンプラザホテル広島

本日のプログラム

「放送あれこれ」

川島宏治様

次回例会（5月29日）

「新入会員卓話」

田野原 浩会員

お知らせ

5月15日 累計978,500円（本例会 19,000円）

ニコニコ箱
ぺこぺこ箱

○吉田信秀:5月1日付での代表取締役会長に就任に際し、会員の皆様にご挨拶申し上げます。2023年は島根新進出50周年、山口進出20周年、そして社長就任から45年の節目の年となります。近年は世界情勢や掲載環境が大きく変化してきており、当社もそうした変化に対応し、変えられるものは変えていかなければなりません。（5口）

○尾木 朗:先週の職場訪問例会では多くの方々に弊社本社ビルへお越し頂き有難うございました。何か一つでも皆様方の参考になれば幸いです。今後とも弊社グループを宜しくお願い申し上げます。（3口）

○天野國幹:妻の誕生日にお花を頂きました。ありがとうございます。（1口）

○國司 晃:5月度のゴルフ部例会で初めて優勝することができました。

一緒に楽しくラウンド頂いた、田上さん、富部さん、大井さん、ありがとうございました。一方で、優勝スコアで100を切ることができませんでした。高橋さんすみません。もう一度優勝できるように練習に励みます。（3口）

とばっちり→田上克彦、富部秀司、大井克元、高橋心里（1口×4）

○谷井 智:4月29日のゴルフ例会で何年かぶりに優勝しました。同日に開催された14RCのゴルフ大会は田上さんの予想通り戦力外でした（2口）

とばっちり→田上克彦（1口）



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

今後の予定

○本・次合同クラブアッセンブリー
と き 5月22日(月) 18:30～
ところ ANAクラウンプラザホテル広島

※予告 次年度第2回クラブアッセンブリー
と き 6月19日(月) 13:35～
ところ ANAクラウンプラザホテル広島

○台中ロータリークラブ表敬訪問
と き 5月25日(木)～5月27日(土)

○「親子でわくわくリトミック」
と き 6月21日(水) 10:30～11:15
ところ 安佐南区区民文化センター 2F

前回2023年5月15日例会

「ひろしま美術館の現況とピカソ展について」

ひろしま美術館副館長 角倉博志様



1. ひろしま美術館について

原爆で亡くなられた方々への鎮魂と人々へ美という癒しを提供するため、広島銀行創業100周年の記念事業として1978年11月に設立され、今年で45周年を迎えます。

お陰様で先日の5月8日に開館以来の入館者が700万人に達しました。

2. フランス印象派の画家の作品をコレクションの中心としたわけ

印象派の画家たちが浮世絵の影響を受けているなど日本との関わりが深い、また分かり易く見て美しいからでした。コレクションの方針は、絵の専門家でなくて

も愛好家が観て分かるものにしようという事で、印象派とゴッホなどのポスト印象派、エコールドパリと呼ばれた時代の画家、そしてピカソまでと決めてありました。

日本洋画や日本画も含めて主なコレクションは1970年から1974年にかけて収集し、約50年前にほぼ現在のコレクションが完成しました。今はコレクションの常設展に加えて毎年、バンクシー展やピカソ展などの特別展も年4回程度開催しています。

3. 最近の取り組み

(1) 演劇型ナイトミュージアム

広島の夜の観光を盛り上げるために2年前から始めました。閉館後の夜の美術館で地元の劇団員が印象派のゴッホやモネなどの画家に扮して、絵を見るポイントや画家同士の人間模様などを演じる演劇を楽しみながら鑑賞するものです。定員30人程度の完全予約制で人気を博しており、昨年からは日本画バージョンも追加しました。

(2) シャッターアートミュージアム

広島中心部の賑い作りの為、2年前から県内の美術館と連携し始めました。今年も地下街シャレオの店舗シャッターへ各館のコレクション画像をラッピングして展示中です。

4. 支援組織「メープルクラブ」

美術館運営で黒字化が難しい日本で、45年間やってこれたのは、開館と同時に広島の法人個人で組織された「メープルクラブ」さん(会員数は現在約500、年会費3万円)のお陰です。会員特典も数々あります。ご興味あってご連絡頂けたら幸いです。

5. 特別展「ピカソ、青の時代を超えて(開催期間2月4日から5月28日)」

当館開館45周年、ポーラ美術館開館20周年記念の2館だけの特別展です。特に青の時代の作品は、世界的にも評価の高い名品が揃っています。ピカソといえば キュビズム(立体的)な絵の印象が強いですが、ピカソの若い時から91歳で亡くなるまでのいろいろな画法の作品を各時代通してバランス良く国内外から約70点を集めています。ピカソは91歳で亡くなるまで、生涯で二人の女性と結婚、付き合いのあった女性が5人いたといわれています。その7人を描いた女性の絵が今回集まりました。それらの女性をどう描いたか、付き合う女性が変わるとそのたびに画風が変わったといわれますが、どう変わったか、という観点から鑑賞するのもとても興味深いと思います。まだの方は是非ご鑑賞下されば幸いです。

